さぁ! PARTYへ繰り出そう!!

PARTYの主役は、エキセントリック・ガール!!

——世界を躍らせるエレクトロ・ポップ・クィーン対決!

クラブで主役の座を射止めるには…? それはズバリ、他の人より目立つこと! クラブ・カルチャーには、人と違ったことをする人がクールとされるという文化が脈々とあります。そこで、現在クラバーから尊敬を集める二人のガールズアイコンを紹介しましょう。彼女たちの存在、まさにエキセントリック! すべてのクラブ女子の手本です!

マドンナ以来!? ティーン熱狂のダンシングクィーン Lady GAGA

VS

過激に刺激! 00s最高のロックンロール女子 KAREN O from YEAH YEAH YEAHS

注目される理由

シングル「ジャスト・ダンス」と「ポーカー・フェイス」がともに全米・全英No.1に! そのユニークなエレクトロ・ポップとファッションに主に10代が熱狂し、「現代のグウェン・ステファニー/マドンナ」と言われることも。

03年のファーストアルバム『フィーバー・トゥー・テル』に批評家が大絶賛。「00年代最高のロックアルバムのひとつ」と言われることも。その後も常に音楽的進化を続け、評価を高めるヤー・ヤー・ヤーズのフロントガール。

ステージでの必殺技

「レトロセクシャル」と呼ばれる80年代風衣装(自作)を纏い「文字の移るサングラス」「先端が光るスティック」などの小道具を交えつつ、激しいダンスを魅せる。ちなみに、昔は、衣装を脱ぐ、燃やすなどの過激パフォーマンスも展開。

肩に大きなツノのついた赤ワンピ」などケバケバしくて奇抜な衣装を躊躇なく着こなす。ステージでは、マイクコードを鞭がわりにしたり、マイクをしゃぶったり、飲んだドリンクを空中に噴出したりと、かなりキワドイパフォーマンスを熱狂に変える恐怖の女。

プロフィール

86年生まれ。両親がイタリア系アメリカ人。ニューヨーク生まれのニューヨーク育ち。

78年生まれ。お母さんが韓国系。ニュージャージー育ちで、大学からニューヨークへ。

学歴

マンハッタンの「聖心女子学院」を卒業。この学校は、パリス・ヒルトンも学生時代を送った超・お嬢様学校。つまるところ、めっちゃセレブです。

名門ニューヨーク大学出身。ニューヨーク大学がどれくらいすごいかというと、大学の学力の世界ランキングで東大よりも遥かに上。

音楽との出会いはちょっと対照的

4歳でピアノをマスターし、13歳で自作曲を制作。14歳ではやくもナイト・クラブでパフォーマンスを披露(早熟すぎる!)。

大学時代、ニューヨークのバーでギタリスト、ニック・ジナーと運命の出会いをし、ニックと音楽活動をスタート。

憧れの人

特にリスペクトしているのが、デヴィッド・ボウイとクイーン。「LADY GAGA」というステージネームはクイーンのヒット曲「レディオ・ガガ」からきている。デザイナーでは、ベルサーチを崇拝している。

90年代の女性ロックアーティストは大体好きらしく、特に挙げるのが、ビョーク、PJハーヴェイ、キム・ゴードン(ソニック・ユース)。ビョークとソニック・ユースはライヴでカバーすることも。

交友関係

同じ高校出身のパリス・ヒルトンとは友人。最近も自分が出演したパーティーにパリスが遊びに来ているところが報じられた。

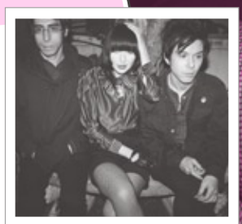
過去、天才音楽ビデオ監督スパイク・ジョーンズやニューヨークのアンダーグラウンド音楽シーンのカリスマバンド、ライアーズのボーカル、アンガス・アンドリューと付き合っていた。やはり、エキセントリックガールはエキセントリックな人間を引き寄せてしまうのか。

↗キーワードは「レトロ・セクシャル」
レディー・ガガといえば、このユニークな衣装に世界のティーンが熱狂! 思いっきり肩パット入ったドレスやハイレグの水着など、80年代風の衣装は「レトロ・セクシャル」とも呼ばれます。

←サングラスとクリスタルスティックはマストアイテム!
もうひとつ、ガガ的に重要なアイテムがジャケット写真にあるサングラス。ライヴによって何種類か使い分けており、その中には、サングラスの表面に文字が映るものも。また裏ジャケに写っているクリスタル付のスティックも必須アイテム。

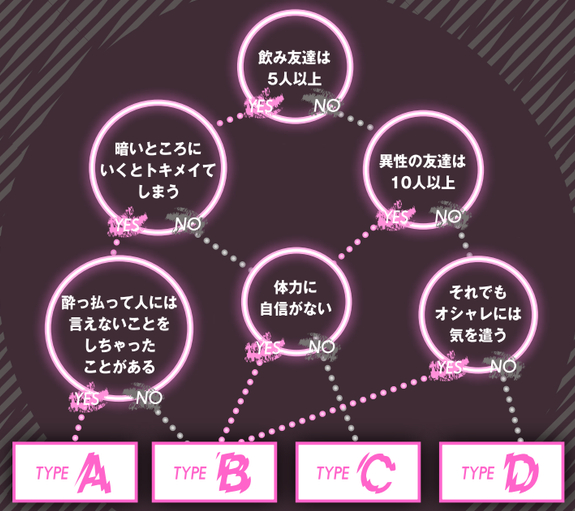
「電撃!」だからこそ、ショッキングなジャケ→
本作『イッツ・ブリッツ!』の意味は「ソイツは電撃!」なわけですが、そんなタイトルを端的にあらわしたのが、このジャケット。生卵をべしゃりと握り締めてます。握りつぶしたその手はどうやらカレン本人という説あり。

3人いるから頑張れる! YYYs最強のメンバー→
カレン自ら、「この3人だからこそ最高の音楽が作れる」というヤー・ヤー・ヤーズ。ギターのニック・ジナーは、バンドの進化し続けるサウンド面を担当する音の探求家。ドラムのブライアン・チェイスの軽妙なプレイは常に「ダンス」の要素をバンドに注入しています。



アナタのPARTY指数診断!

「クラブなんて行ったことない?」「エレクトロってなに?」そんなあなたも大丈夫。あなたの心の中の「クラバー指数」をL.I.T.がずばり計測します!



TYPE A 完全なるパーティーアニマルタイプ
世のクラブに行き尽くし、飲みつくした野獣! そんなあなたには、フリペの中に隠れたメッセージがあります。

TYPE B パーティー指数高し 潜在的クラバータイプ
もし、あなたがクラブ未経験者でも、DNAには「クラバー魂」が宿っています。さあ、クラブデビューだ!

TYPE C やっぱ汗かいてナンボライヴ派
スポーティーなあなたは、ライヴ派。しかし、そんなあなたもクラブで楽しむ方法あり! 裏面をチェック!

TYPE D 俺を独りにしてくれタイプ
ちょっとクラブへの距離は遠いかも。でも、あなたのために裏面に素晴らしい音楽を用意しました…

CHECK!

BEPも流行のエレクトロに!

レディー・ガガの登場に刺激を受けてか、アメリカのポピュラーミュージック界でもエレクトロ・サウンドが大ブーム。たとえば、カニエ・ウェストも、リアーナも近年の作品では、エレクトロニックなサウンドを取り入れています。そして、世界中、老若男女に愛されるあのブラック・アイド・ピーズの新曲「ブーム・ブーム・ポウ」も電子音とボコーダーで加工したボーカルをフィーチャーした思いっきりエレクトロなサウンドできました! この曲を収録したアルバム『the E.N.D.』は6月2日発売!

CHECK!

次の主役は“クール・ビューティー”!?

“女の子が主役のエレクトロ”、それが今の音楽シーンを読み解く大事なキーワードの一つ。日本にパフュームが、アメリカにはレディー・ガガがいるように、イギリスにも勿論シーンのド真ん中で活躍する女の子がいます! それもとびきりクールでスタイリッシュな子が。それが今話題沸騰中のエレクトロ・デュオ、ラ・ルーのエリー・ジャクソン。モードなファッションに身を包みミステリアスな雰囲気を漂わせた彼女達こそ、英国で「09年期待の新人」として、BBCやNMEをはじめとする数々のメディアで紹介された“UKガールズ・エレクトロ09”の大本命。これから世界中のダンスフロアで注目を集めること間違いなしのラ・ルー、今から是非チェックを!

タイプ別 おススメDANCE MUSIC

TYPE B クラバータイプのあなたが 今すぐガチのクラバーになる方法

まずは人気のフロア・アンセムをチェック！

踊り疲れてお酒も回り、そろそろ眠くなってきたなぁ…なんて時でも、大好きな曲がかかった瞬間に眠気はどこかに吹っ飛び、また楽しくなって踊ってしまう。クラブに遊びに出かけた事がある人なら、そんな経験が一回はあるはず。その場にいる人みんなをそんな最高の気分にしてくれる魔法のような名曲を“フロア・アンセム”なんて言いますが、去年〜今年にかけてロック系のクラブで大人気のフロア・アンセムと言えば、何といってもヴァン・シーの「ケリー」。この曲のサビで、全然知らない人と一緒に拳を上げて大合唱できるようになれば、アナタももはや立派なクラバーと言っても過言ではありません。さらにクラバー道を極めたい人は、彼らがヴァン・シー・テックというDJユニットとしても活動していることや、ロック＆ダンスのクロスオーバーに一役買ったオーストラリアの超人気インディ・レーベルModularの看板バンドだということ等の豆知識を覚えておくと◎。

CHECK!

YUKSEK
『Away from the Sea』

上級者は「ロッキン・エレクトロ」！

上級者クラバーであれば、ぜひチェックしていただきたい、今旬なクラブサウンドはこれ。フランス出身のYUKSEK（ユック・セック）のデビューアルバム『アウェイ・フロム・ザ・シー』。フランスのクラブ・ミュージックといえば、古くはダフト・パンク、最近ではジャスティスらが活躍していますが、彼らに続く新世代アクトです。俗に「ロッキン・エレクトロ」と呼ばれる、ガツンとフックのあるエレクトロ・サウンドが持ち味！

TYPE C やっぱライヴが好きというあなたも ガチのクラバーになっちゃう方法

エレクトロでも、ドライビン！な一枚

CASH CASH

ライヴ派のあなたでも楽しめるエレクトロ・サウンドということで大注目なのがロサンゼルス出身の5人組ロックバンド、キャッシュ・キャッシュ。よく「エレクトロmeetsアメリカン・ロック」といわれる彼らのサウンドは、さわやかなメロディーとドライブ感あふれるロックサウンドに、シンセサイザーやボコーダーボイスを合体させた、誰もが楽しめるクラブロック！代表曲「パーティー・イン・ユア・ベッドルーム」はまさにみんな胸キュン☆の名曲です！疾走感あふれる「ブレイクアウト」も超・爽快！です。

CASH CASH
『Take It To The Floor』B001252902

2/9 @ 代官山UNIT　Photo by Yoshika Horita

IGLU & HARTLY

ライヴで“パーティ”したいなら、コイツら！

DJのかける曲に合わせて踊るクラブ・イベントだけがパーティじゃありません。最高の音楽に合わせて楽しく踊れば、全てはパーティなのです。そして今、最もそんな気分を味わえるライヴ・バンドと言えば、“LAのパーティ・アニマル”ことイグル＆ハートリィ。今年2月に行われた一夜限りの来日公演は、ロックもヒップホップもダンス・ミュージックも全部混ぜ合わせた、底抜けに楽しくパワフルなライヴでした。その来日公演を見逃したというアナタに朗報です。サマーソニック09にて、再来日が決定！彼らのライヴを120%楽しむために、デビュー・アルバム『イグル＆ハートリィ』を今から擦り切れるほど聴きこんで予習していくことをオススメします。

IGLU & HARTLY『イグル＆ハートリィ』UICR-1082

TYPE D 孤独を愛して やまないアナタに

この音楽に全世界が涙した

夜遊びなんてお金かかるし、人としゃべるのも面倒くさいし、やっぱり家がイチバンという“草食系”のアナタには、スノウ・パトロールをオススメ。洋画や海外ドラマのDVDをよく見る人であれば、もしかしたら彼らの音楽を既に聴いたことがあるかもしれません。何を隠そう、米ドラマ「グレイズ・アナトミー」の劇中で使用された楽曲や「スパイダーマン3」のエンディング・テーマを歌っているバンドこそ、スノウ・パトロールなのですから。リリースされたばかりの新作『ハンドレッド・ミリオン・サンズ』も、映画やドラマに負けず劣らずドラマチックな泣きのメロディ満載の1枚。これを聴けば、家にいながらにしてドラマの主人公になったかのような気分が味わえるかも!?

SNOW PATROL

SNOW PATROL
『A Hundred Million Suns』
UICP-1108

ELBOW

素晴らしき“音楽の深淵”の中へ…

もっと深く、もっと貪欲に音楽を聴く醍醐味を味わい尽くしたいという人は、是非ともエルボーの新作『ザ・セルダム・シーン・キッド』を聴いてください。エルボーはマンチェスターを拠点に活動する、20年近いキャリアを持つ５人組の苦労人バンドで、本作はユニバーサル移籍後初となる彼らの通算4作目。本国イギリスでは昨年3月にリリースされるやいなや多くの音楽メディアで大絶賛を獲得、さらには英国で最も権威ある音楽賞マーキュリー・プライズの最優秀賞にも選ばれた“今UKで最も素晴らしい音楽”。レディオヘッドやピンク・フロイドとも比較される神秘的で実験精神に満ちた音楽性は、聴き込むたびにハマること間違いなしです。

elbow『The Seldom Seen Kid』UICP-1110

TYPE A “アニマル”なアナタは そのまま突き進め！ ただし、飲みすぎにはウコンを忘れずに…

NEWS

NEW RELEASE

■夏フェス出演者続々決定！

夏といえばフェス！今年はサマーソニックが10周年で三日間開催とめでたいですね。出演者も続々決定です。フジロックは、なんと言ってもＬＩＴでおなじみキラーズに、ホワイト・ライズと、米人気ロックバンド、ウィーザーが注目。サマーソニックは、新曲披露はあるかクラクソンズ、今号でフィーチャーしたユック・セックとイグハが参戦！ また、新人勢ではエアポーン・トキシック・イベント（フジロック）、ＶＶブラウン（サマソニ）も注目です。

■ノイゼッツ、大逆転のヒット！

07年に発売した『ホワッツ・ザ・タイム・ミスター・ウルフ』が通の間で話題だった英出身３人組バンド、ノイゼッツですが、突如本国で大ブレイクをしております！ シングル「ドント・アップセット・ザ・リズム（ゴー・ベイビー・ゴー）」が全英２位を記録しています。ロックのエッジと、リアーナに通じるエキゾチックながらポップなメロディーが融合したこの曲ですが、ノイゼッツも一皮剥けたという感じ！ 大ヒットも納得です。この曲を収録したアルバム『ワイルド・ヤング・ハーツ』がただいま輸入盤で発売中なので、ぜひチェックを！

LIVE INFO

Lady Gaga / Hoobastank / The All-american Rejects / Klaxons / Hollywood Undead / Mando Diao / Keane / Iglu and Hartly / Solange / Five Finger Death Punch / Yuksek / VV Brown　★SUMMER SONIC 09 出演

8/7 (fri), 8/8 (sat), 8/9 (sun)　東京　千葉マリンスタジアム&幕張メッセ
大阪　舞洲サマーソニック大阪特設会場
ℹ クリエイティブマンプロダクション 03-3462-6969

The Killers / Weezer / Fall Out Boy / White Lies / The Airborne Toxic Event / Jimmy Eat World
★FUJI ROCK FESTIVAL 09 出演

7/24 (fri), 7/25 (sat), 7/26 (sun)　新潟　湯沢町苗場スキー場
ℹ SMASH　03-3444-6751

INFORMATION SMASH：smash-jpn.com、smash-mobile.com
クリエイティブマンプロダクション：creativeman.co.jp

EDITORS NOTE

クラブの特集のはずなのに、ライヴの話しちゃいます。ライヴで泣くって言う経験は、ライヴによく行く方、一度はあると思うんですが、私、2回見て2回とも泣いてしまったバンドがひとつあります。カナダ出身のアーケイド・ファイアです。「泣く」といっても悲しくて泣くとかじゃくて、「言葉で表せないカタルシスに遭遇して、思わず魂から水分が！」みたいな感じです。たぶん、これじゃ分けわかんないと思うので、5月27日に発売される彼らのDVD『Miroir Noir』を見てください。絶対、泣く。(FJSH)

〈今月の1枚〉
Arcade Fire
『Miroir Noir』

L.I.T. - Lost in Translation vol.6 2009.May
Editor in Chief：FJSH／制作：WONDERKIND／Writer：青山晃大／
Design：小嶋香織（カレラ）／Printing：幸田印刷

L.I.T. ON WEB　l-i-t.jp